

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 24 日 (2017.8.24)

【公表番号】特表 2016-525752 (P2016-525752A)

【公表日】平成 28 年 8 月 25 日 (2016.8.25)

【年通号数】公開・登録公報 2016-051

【出願番号】特願 2016-528631 (P2016-528631)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2017.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 G

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 7 月 12 日 (2017.7.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

この記述子の簡単な符号化法は、"副記述子ごとの"順序で、すなわち、一般的な場合には、 $v(i)_0, 0$ 、 $v(i)_0, 1$ 、...、 $v(i)_0, 7$ 、 $v(i)_1, 0$ 、 $v(i)_1, 1$ 、...、 $v(i)_1, 7$ 、...、 $v(i)_{15}, 0$ 、 $v(i)_{15}, 1$ 、...、 $v(i)_{15}, 7$ という順序で、複数の要素を計算することおよび符号化することを含む。ここで、 $v(i)_{i,j}$ は、副記述子 $v(b)_i$ の要素 $v(i)_j$ を示す。これは、どの要素が符号化されるべきかを決定すべく、例えば図 3 に示されるような適切な複数の変換を使用して、また、例えば図 4 に示されるような、所望の記述子長に対する適切な要素利用の複数の組を使用して、変換された副記述子 $v(b)_0$ に対して複数の要素 $v(i)_0$ 、 $v(i)_1$ 、...、 $v(i)_7$ を符号化し、次に、変換された副記述子 $v(b)_1$ に対して複数の要素 $v(i)_0$ 、 $v(i)_1$ 、...、 $v(i)_7$ を符号化し、等々を意味する。